

なかがわ

広報

2013. 8



No.95

- 地震・風水害等に備えて
～9月1日は「防災の日」～ 2
- 那珂川町臨時職員（保育園）募集 4
- 平成26年度『提案型補助金』を募集 5
- 那珂川町長選挙・立候補予定者説明会等のお知らせ 6
- 介護者の集まりに参加しませんか？ 7
- 那珂川町「夢まつり」参加者募集 11

ネイチャークラブサマーキャンプ
(10ページをご覧ください)

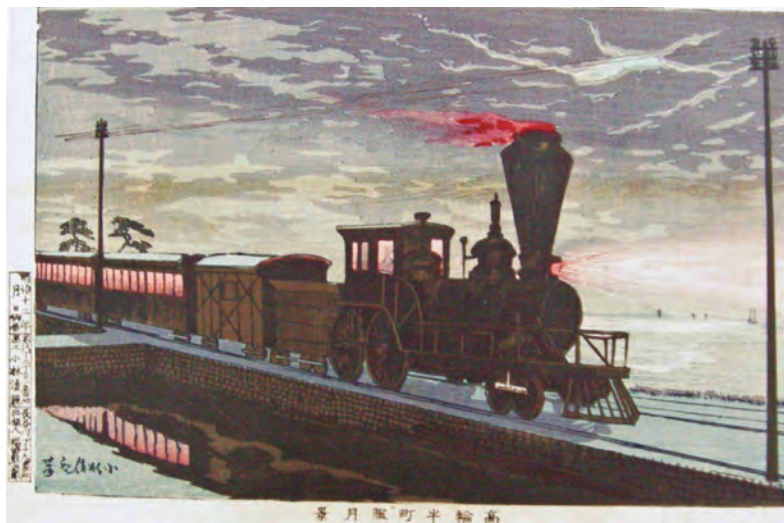


企画展 文明開化と蒸気機関車展

西洋で蒸気機関車がはじめて走ったのは1825年イギリスのストックトン～ダーリントン間でした。日本では47年後の明治5年（1872）9月2日に新橋～横浜間が正式に開通し1日9往復しました。ただし蒸気機関車と客車はイギリスから輸入し、鉄道的设计はイギリス人のエドモンド・モレルが行い、機関車も外国人が操縦しました。品川から横浜間約29kmを徒歩だと6時間以上掛かりましたが、蒸気機関車は約53分で走りました。この速さは当時の人々たちにとって驚異的だったようです。料金は上等1円12銭5里、中等75銭、下等37銭5里の三段階に分かれていました。（当時の50銭は現在の5000円位に相当）注目すべきは当時禁煙車があり、犬は1匹25銭で乗せてくれました。大部分の客は交易で滞在している外国人、雇われ外国人、裕福な日本人で経営は黒字でした。

はじめて鉄道が開通してから17年後の明治22年には新橋から神戸間が開通し、明治30年代には全国に約7000kmの鉄道網を敷設しました。鉄道の普及を急いでいたことが伺われます。

図は夕闇迫る高輪の海岸線を走る蒸気機関車です。機関車は煙突から火を噴き、ライトは前方を照らしています。車両の構成は蒸気機関車、燃料車両、荷物



小林清親「高輪牛町籠月景」

車、客車が続いています。機関車の前に付いている柵は動物をひかないためのものです。小林清親はこの作品を描くために米国型の蒸気機関車をモデルにしましたが、明治初期に米国型の蒸気機関車は日本で走っていませんでした。

馬頭広重美術館長 市川信也

【会 期】 8月9日（金）～9月8日（日）

【開館時間】 午前9時30分より午後5時まで
（但し入館は午後4時30分まで）

【入館料】 大人 500円（450円）
高・大学生 300円（270円）

※（ ）は20名以上の団体料金。

※70歳以上、中学生以下は無料。

※障害者手帳をお持ちの方・付き添い1名は半額

8月15日（木）は美術館を無料開放いたします。

福島・茨城・栃木の県際地域（FIT地域）の観光PRや特産品の展示・販売を行う「まるごとFITフェア2013」が7月27日、東京のJR有楽町駅前広場で開催されました。鮎の甘露煮やインスタントラーメン、和洋菓子など、那珂川町の特産品がたくさん並びました。なかちゃんとの抽選会もとても盛り上がりがありました。

まるごとFITフェア2013

